



平成30年第3回定例会が9月25日に行われました。

平成29年度決算の認定議案については、否上程の一般会計を除く特別会計10会計を決算審査特別委員会へ付託しました。

補正予算、条例の改正等の議案の審議を行い、原案のとおり可決しました。

## 平成30年度補正予算

会 計 名		今 回 補 正 額	補 正 後 の 予 算 額
一 般 会 計 ( 第 4 号 )		5800万8千円	95億8244万9千円
一 般 会 計 ( 第 5 号 )		1008万4千円	95億9253万3千円
特 別 会 計	介 護 保 険 事 業 ( 第 2 号 )	709万2千円	10億2997万4千円
	簡 易 水 道 事 業 ( 第 3 号 )	126万円	3億8232万6千円
	簡 易 水 道 事 業 ( 第 4 号 )	480万円	3億8712万6千円
	公 共 下 水 道 事 業 ( 第 2 号 )	154万7千円	5億3868万8千円
	病 院 事 業 会 計 【 収 益 的 収 支 】 ( 第 1 号 )	3033万9千円	12億8424万5千円
	病 院 事 業 会 計 【 資 本 的 収 支 】 ( 第 1 号 )	172万8千円	9670万9千円

### 補正の主な内容

#### ◎一般会計補正予算(第4号)

大成総合支所の小型トラックの更新、寄附に伴うスポーツと文化振興基金への積み立て、農業チャレンジ等支援事業補助金の追加、せたな雅荘運営事業助成金、旧北檜山保育所改修工事、林道専用道宮野丸山線開設工事の追加、瀬棚新港道路路肩改修工事、町民体育館軒天改修工事のほか、行政執行上当面必要とする経費についてです。

### 討 論

#### ◎賛成討論 石原広務 議員

私は今回のせたな雅荘の助成金を含む補正予算には賛成します。その理由は常任委員会です。今後の方向性も町側の考案が出された時点で協議するという継続調査もされてますし、先々の雅荘の運営が恵福会本体を窮地に追い込むという状況であるので、早期に町長が考えを示した上で議会に表れるものと理解しまし

たので、今回の補正には賛成いたします。

#### ◎一般会計補正予算(第5号)

9月6日発生 of 北海道胆振東部地震に係る災害対策で時間外勤務手当、施設への発電機配備など応急対策のため需用費、停電により各家庭での入浴が困難なことから温泉を無料開放したことに伴う温泉入浴使用料、防災行政無線備品購入等の追加です。

#### ◎介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

介護保険システム改修業務、介護給付費負担金等返還金の追加です。

#### ◎簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

水道メーター器の入札執行残の減額や簡易水道施設機器点検整備業務の追加です。

#### ◎簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

水道計器の修繕料並びに発電機などの借上料についてで

す。

#### ◎公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

発電機などの借上料についてです。

#### ◎病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入及び支出  
給与費の精査、経費では新せたな町立国保病院改革プラン支援業務、医療事務を外部委託に切り替えることに伴う事務維持業務、出張医師対策費などについてです。  
・資本的収入及び支出  
大成診療所における職員住宅ブロック塀改修工事費です。

## 第3回定例会



### 条 例

◎学童保育所条例の一部を改正する条例について

瀬棚学童保育所をせたな町生涯学習センター内へ移転するため、本条例の一部を改正しました。

◎養護老人ホーム条例の一部を改正する条例について

瀬棚養護老人ホーム三杉荘の改築移転によりまして位置を変更するため、本条例の一部を改正しました。

### 同 意

◎教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。

- ・大成区平浜
- ・門間 智明 さん（66歳）  
もんま ともあき

### 報 告

◎平成29年度健全化判断比率並びに公営企業資金不足

率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町監査委員の意見を付して報告がありました。

財政健全化指標は、実質公債費比率では7.8%（前年度比0.6ポイント減）、将来負担比率並びに公営企業資金不足比率は前年度同様数字はありませんでした。

### 請 願

◎せたな町福祉バス導入に関する請願について

付託された総務厚生常任委員会から採択すべきものと報告があり、本会議では委員長報告どおり採択で決しました。

◎国民宿舎あわび山荘の改築に関する請願について

請願者  
一般財団法人 貝取淵温泉公社  
理事長 朝倉 満  
老朽化が進んでいる国民宿舎あわび山荘の改築に関する請願書の提出があり、総務厚

生常任委員会に付託しました。

### 意 見 書

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

1. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。  
2. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

◎2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の充実など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。また、消費税・地方消費税の引き上げを予定しており2019年10月に実施し、社会保障財源に充てること。  
2. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要と、公共サービスへの提供に必要な人員を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。  
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止

縮小すること。

4. 住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。

5. 2015年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないよう、地方交付税を算定すること。

6. 地域間の財源偏在性のは正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への財源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。

提出議員 平澤 等  
賛成議員 大野 一男

同 本多 浩  
同 榎田 道廣

◎障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

1. 障害児者が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉人材を確保すること。  
2. 入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。  
3. 前2項を実現するために、障害者関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援すること。

提出議員 本多 浩  
賛成議員 大野 一男  
同 平澤 等  
同 榎田 道廣

※意見書については抜粋して掲載しております。

※内閣総理大臣ほか関係大臣宛に提出しております。

## 決議

◎高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受け入れを拒否する決議

せたな町においては、北海道の「核抜き条例」にもとづき、高レベル放射性廃棄物の最終処分場は受け入れないことを決議しました。

提出議員 大野 一男  
賛成議員 本多 浩  
同 榎田 道廣  
同 大湯 圓郷  
同 平澤 等

## その他

◎工事請負契約の締結

・工事名  
町民プール新築工事  
(建築主体)  
・契約の相手方  
城ヶ端・内田経常建設共同企業体  
代表者

久遠郡せたな町北檜山区北檜山135番地11  
城ヶ端建設株式会社

代表取締役 城ヶ端 政次  
構成員

久遠郡せたな町北檜山区北檜山235番地7  
株式会社内田建設  
代表取締役 内田 尊之  
・契約金額  
3億5208万円

・工事名  
町民プール新築工事  
(機械設備)  
・契約の相手方  
池田煖房・北部工営経常建設共同企業体  
代表者

函館市昭和2丁目37番18号  
池田煖房工業株式会社函館支店  
執行役員支店長 杉本 辰  
構成員

久遠郡せたな町北檜山区豊岡167番地1  
北部工営株式会社  
代表取締役 佐瀬 敏秀  
・契約金額  
9396万円

・工事名  
町民プール新築工事  
(電気設備)  
・契約の相手方  
橋本・ヤマト経常建設共同企業体  
代表者

札幌市東区北19条東10丁目3番7号  
橋本電気工事株式会社  
代表取締役社長 土岐田 昇  
構成員

久遠郡せたな町北檜山区豊岡334番地40  
有限会社ヤマト電気工業所  
代表取締役 並川 武光  
・契約金額  
5616万円